

# 死亡者は1,571人 重篤者は20,248人

今のところ死亡とワクチン接種との因果関係は証明されていませんが、13歳の男の子が2回目のワクチン接種後、数時間後に救急搬送され亡くなった例を含め、10代ではワクチン接種後に7人が亡くなっています

なぜ、テレビでは、接種後の死亡者数がほとんど報道されないのでしょうか？  
接種のメリットとデメリットを放送し、視聴者に考える材料を提供するのがテレビの役割ではないでしょうか？

## 若年層における「コロナワクチン接種後の重篤者数」と「コロナ重症者数」の比較

### ワクチン接種後の重篤な副反応

(接種開始～2022年2月20日) 右上のリンクの資料1-2-1より算出  
(製造販売業者からの報告)

	重篤者数
12～19歳	<b>1,182人</b>

接種する前までは、健康であったと思われる多くの若者が接種した結果、このような人数の重篤な副反応が発生しています。特に、若い男性には接種後の心筋炎のリスクがあります。

### 新型コロナでの重症者

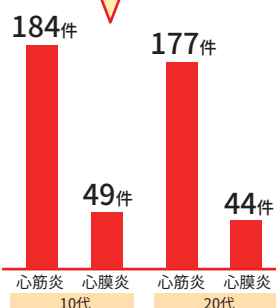
大阪府での第三波～第六波の約1年間  
(2021年3月1日～2022年3月13日)

大阪府	重症者数
0～19歳	<b>17人</b>

新型コロナで、若年層の重症者は極めてまれです。

第76回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード  
資料3-7 藤井先生提出資料  
p.26 より

10代・20代では  
**ワクチン接種後に454件の心筋炎・心膜炎**  
疑いが厚生労働省から報告されています。



コロナで入院した10代・20代で、心筋炎・心膜炎を発症したと発表されているのは4人だけです。

4人

心筋炎・心膜炎

10代・20代

コロナで入院

2021年9月時点の集計

## インフルエンザワクチンと コロナワクチン接種後の死亡者数の比較

コロナワクチンは非常にリスクの高いワクチンだと思いませんか？

インフルエンザワクチン  
(2017年～2019年の平均)

**6人死亡**  
約5,273万回接種

新型コロナワクチン  
(2022年3月4日まで)

**1,571人死亡**  
約2億3112万回接種

死亡率  
約**60倍**

※上記は、報告された“実数”ですが、期間・母数を揃えて比較しても、10代・20代の男性では、心筋炎・心膜炎の発生頻度は、**ワクチン接種後の方が高くなっています。**

計算方法

新型コロナ研究室



**心筋炎**とは心臓の筋肉に炎症が起こり、心臓の収縮力が低下したり、不整脈を起こしたりする疾患です。厚生労働省は、心筋炎・心膜炎を「**重大な副反応**」の位置づけとしました。

## ワクチンに関する情報発信

### CBCニュース【CBCテレビ公式】の動画チャンネル

新型コロナやワクチンのメリット・デメリットなどを中立的な立場で配信されています。

### こどもコロナプラットフォーム

泉大津市長などが発起人の団体「こどもコロナプラットフォーム」が、厚生労働省等へ「こどもへの新型コロナウイルスワクチン接種勧奨の中止と重症化予防対策の改善等を求める要望書」を提出。



youtube動画



ホームページ

日本では、新型コロナウイルス感染症における20歳未満の重症者・死亡者も非常に少ない状況です。中長期の影響が不明な人類初のmRNA遺伝子ワクチン(コロナワクチン)を、急いで子供に接種する必要があるのでしょうか？ メリットとデメリットを調べ、納得してから接種の有無を決めましょう。「少し様子を見る」という選択肢もあるのではないのでしょうか。

